

## 洲本市子ども・子育て支援事業計画 令和2年度主な事業の実施状況

### 1 幼児期の教育・保育

	計画		実績見込み	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
1号認定	202人	202人 (確認を受けない 幼稚園を含む)	213人 (確認を受けない 幼稚園を含む)	11人
2号認定	642人	642人	634人	▲8人
3号認定	296人	296人	283人	▲13人
合計	1,140人	1,140人	1,130人	▲10人

**【実施状況】**

令和2年度の利用は量の見込みを10人下回る予定となっています。利用区分別で見ると、1号認定（3歳以上・教育利用）で見込みを上回っており、保育利用（2号認定、3号認定）は見込みを下回っています。

### 2 延長保育事業（時間外保育事業）

計画		実績見込み	
量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
67人	67人	57人	▲10人

**【実施状況】**

令和2年度の利用状況は量の見込みを下回る見込みですが、保育需要の高まりを考慮し、引き続き提供体制を維持します。

### 3 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

登録児童数	計画		実績見込み	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
低学年	359 人	359 人	372 人	13 人
高学年	47 人	47 人	60 人	13 人
合 計	406 人	406 人	432 人	26 人

#### 【実施状況】

未就学児の保育ニーズと同様に、放課後児童クラブの利用希望も増加傾向にあります。

高学年までの受け入れが課題となっており、児童の安全な保育環境を図る観点からも、市所管施設の有効活用や小学校の余裕教室等の活用促進など、提供体制の確保に努めます。

また、安乎小学校区の放課後児童クラブを改築し、令和2年11月より受入児童数を増員するなど、事業の拡大を図っています。

### 4 子育て短期支援事業（ショートステイ）

	計画		実績見込み	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
年間延べ 利用人数	3 人日	3 人日	0 人	▲3 人

#### 【実施状況】

利用数は量の見込みを下回る見込みであり、確保の方策においても充足している状況となります。

引き続き、保護者の疾病等の理由により養育を受けることが一時的に困難となった児童に対する支援の強化に努めます。

## 5 地域子育て支援拠点事業

計画		実績見込み	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
4,217 人回	2 箇所	2 箇所	—

### 【実施状況】

市内2箇所で開設している子育て学習センターで地域子育て支援拠点事業を実施しています。

今後も引き続き多くの利用につながるよう内容の充実に取り組みます。

## 6 一時預かり事業

年間延べ 利用人数	計画		実績見込み	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
3～5 歳 (1号)	4,308 人	4,308 人	1,704 人	▲2,604 人
3～5 歳 (2号)	8,069 人	8,069 人	8,117 人	48 人
0～5 歳 (一般型)	521 人	521 人	375 人	▲146 人

### 【実施状況】

令和2年度の実績見込みでは、3～5歳の預かり保育において、1号認定による利用は新型コロナウイルス感染拡大による臨時休園期間があったことから、量の見込みを大きく下回る状況となっています。一時預かり事業（一般型）においても、新型コロナウイルス感染拡大による利用控えにより量の見込みを下回る状況となっています。

引き続き、利用ニーズに応じた事業実施に努めます。

## 7 病児・病後児保育事業

計画		実績見込み	
量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
403 人日	403 人日	0 人日	▲403 人

### 【実施状況】

平成 31 年 4 月より新たに開設した公立認定こども園において、病気の回復期にある小学校就学前の子どもを対象に受け入れを行っていますが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、利用数は大幅に量の見込みを下回る見込みです。今後も同施設での事業を継続するものとし、利用数、登録数を増やすため、引き続き保護者への周知を行います。

## 8 ファミリー・サポート・センター事業

計画		実績見込み	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
135 人日	0 人日	0 箇所	—

### 【実施状況】

ファミリーサポートセンター事業については、現在実施しておりません。利用者ニーズについては、一時預かり事業（0～5 歳）、放課後児童クラブ等で対応を行っています。

## 9 利用者支援事業

計画		実績見込み	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
2 箇所	2 箇所	2 箇所	—

**【実施状況】**

利用者支援事業については、母子保健型として事業を実施しています。

**10 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）**

計画		実績見込み	
量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
253 人	253 人	255 人	2 人

**【実施状況】**

保健師、助産師、家庭児童相談員により対象家庭を訪問して事業を実施しています。今後も引き続き、全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行い育児に関する不安の解消を目指します。

**11 養育支援訪問事業**

計画		実績見込み	
量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
2 人	2 人	1 人	▲1 人

**【実施状況】**

利用状況にかかわらず、要保護児童等に対する支援のために関係機関との連携強化に努めるとともに、支援が特に必要な対象者の家庭に対し支援員等を派遣し、引き続き育児不安の解消に努めます。

## 12 妊婦健康診査事業

	計画		実績見込み	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
年間受診人数	268 人	268 人	223 人	▲45 人

### 【実施状況】

助成券の交付により、妊婦健康診査に係る費用の助成を行っています。本事業は、妊婦がより健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えるために重要であることから、今後も本助成を実施し、積極的な受診を促進するために支援してまいります。